

ことに伴って、人間ドックのやり方も変わるのか。

A：40歳～75歳の人間ドックは今まで通りやっていく。

Q：退職者医療の入院者の1・56倍とは何人くらい増なのか。

A：20～30人である。その中には入院医療費1人月額80万円という人もいる。

●議案第67号

平成19年度老人保険特別会計補正予算(第2号)

■審査の結果

「全員賛成で可決すべきものと決定」

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ5千490万4千円を追加して、予算総額を7億7千35万6千円とするもの。当初予算より医療費の増額が見込まれるための補正である。

主な質疑

質疑なし。

●議案第69号

平成19年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

■審査の結果

「全員賛成で可決すべきものと決定」

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ26万9千円を追加して、予算総額を7億538万8千円とするもの。居宅介護サービス給付費を600万円減じて、介護予防サービス給付費と特定入所者介護サービス費にそれぞれ300万円ずつ付け替えるのが主要な内容である。

主な質疑

質疑なし。

●請願第9号

湯沢町保健医療センターに整形外科医常駐に関する請願

■審査の結果

「全員賛成で採択すべきものと決定」

紹介議員趣旨説明

町内13カ所のスキー場のうち、医療施設を持つてい

るのは苗場三俣、中里のみで、重症患者は六日町まで搬送せねばならない状態である。湯沢病院に冬季の整形外科医の常駐は不可欠である。

主な質疑・意見

Q：年間を通して常駐してほしいという請願だと民業圧迫になりかねないが、請願趣旨は冬季だけということなのか。

A：この請願は冬季間のみという内容である。

主な質疑

質疑なし。

●陳情第5号

保険でよい歯科医療の実現を求める意見書採択を求める陳情

■審査の結果

「全員賛成で可決すべきものと決定」

主な質疑・意見

歯科医療の現状を考えて賛成する。

産業建設常任委員会報告

閉会中の委員会調査

平成19年10月22日

○土樽地区観光関連団体との意見交換会開催
(土樽農山村開発センター・中子・添名集落開発センター)

平成19年11月14日

○産業建設常任委員会管外視察まとめ
○土樽地区観光関連団体との意見交換会まとめ

開会中の委員会審査

平成19年12月11日

●議案第68号
下水道特別会計補正予算(第2号)

■審査の結果

「全員賛成で可決すべきものと決定」

歳入歳出それぞれ814万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ10億4千950万7千円とする。これは職員を5名から4名とし

たことにより、人件費89万5千円の減、消費税80万円増。歳入は一般会計からの繰入金減。

主な質疑

質疑なし。

●議案第70号

水道事業会計補正予算(第2号)

■審査の結果

「全員賛成で可決すべきものと決定」

収益的収入を500万円増額し、4億2千627万6千円、収益的支出は67万3千円減額して4億229万9千円とする。収入は浅貝計装室の落雷による建物災害共済金収入500万円、支出は浅貝計装室計器類の交換修理に500万円、修繕料の100万円増は、主水楽町線の給水管とメーター1他の移設費、総経費の減は職員を6名から4名に減らしたことによる減等。消費税は29万3千円の減。